

総合経営会議の概要

- 1 開催日時：平成23年6月1日（水）15：15～16：00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、各部局長等
- 4 欠席者：東紀州対策局長、「美し国おこし・三重」担当理事
- 5 議事概要：以下のとおり

（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問 ）

議題1：平成23年度県政運営の考え方（案）（資料1）

（資料1に基づき、前回資料からの主な変更点を説明。）

「平成23年度県政運営の考え方」は本日の会議で決定し、6月3日の県議会全員協議会で説明する予定である。

「今年度、特に注力する事項」の「地域医療の充実」について、もう少しわかりやすい表現に修文したい。（文案を配布）

最後の「特に」以降の文章が、県立病院改革のことだけを指しているように読める。

『特に、「三重県地域医療再生計画」に基づく地域医療体制の整備や「県立病院改革に関する基本方針」に基づく県立病院改革に着実に取り組みます。』としたい。

（修文案が了承された）

「2．平成23年度の県政運営にあたって」の「（1）日本一、幸福が実感できる三重をめざします」の項であるが、二つめの役割の部分から晩婚化・非婚化の部分へのつながりが悪いのではないかと。また、長くてわかりにくい。

この項の中で、1行開けてあるのはどういう意図か？

内容のよって分けたという意味である。晩婚化・非婚化以降の部分は、二つの役割を考えていくうえで、その両方にかかるということである。

小見出しをつけるべきではないか？

3頁の「一つめの役割は・・・」の前に「（三重県が果たすべき役割）」を、4頁の「人は、人との・・・」の前に「（日本一、幸福が実感できる三重）」を小見出しとして記述することでどうか？

（了承）

5頁の「（2）県政運営の基本姿勢」で、市町との関係の記述が少ないような気がする。市町の役割を重要視する必要がある。

「さまざまな力を結集する県政展開」の部分で、市町との関係も一定記述している。今後、県政ビジョンを策定していく中で、検討していきたい。

この部分では、市町への支援と補完となっているので、今と同じである。ただ、現時点で今よりも踏み込んだことがいえるのか？今後の検討の中で、県と市町の関係についても考えていくべきである。

一つ修文をお願いしたい。「1．現状認識」の「（2）雇用経済情勢」の中で、「鈴鹿

や伊賀などの特定の地域で」とあるが、有効求人倍率については四日市が低かったこともあり、「特定」は削除してほしい。

了解した。

6頁の「(1)今年度の政策展開」の の取組の順番は、現状の体系とも違うがどのような考え方で並べたものか？

今年度は戦略計画がなく、政策体系がない状態である。新しい政策体系は、県政ビジョン策定の中で検討していくことになる。 の並べ方は、今年度特に注力する事項に「教育立県に向けた取組」があることから、教育から順に並べている。来年度以降の政策体系はこれからの議論である。

原子力発電所の「爆発事故」、「放射能汚染」は表現がきつい。適切な言葉遣いをしてほしい。

適切な表現に修正する。

以上